

高等学校 令和 5 年度 (2 学年用)

教 科 : 書道 科 目 : 書道Ⅱ

単 位 数 : 2 単 位

対 象 学 年 組 : 第 2 学 年

教 科 担 当 者 : (1~6組: 井ノ上)

使用教科書: 書Ⅰ(光村図書)

教科の目標: 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書特有の用具、用材の特徴、書の要素、用筆、運筆等の表現形式について、古典、古筆の表現及び鑑賞を通して理解し身に付ける。	古くから継承されてきた書の伝統、文化の良さ、美しさを捉え、生活や社会における、美の役割、効用、価値を考え、作品に表現できるよう考えて活動を展開できるようにする。	主体的に書の表現や鑑賞に取り組み、生涯に渡り文字や書と豊かに関わる資質、能力を育成する。書の伝統と文化を理解し、多様な書と関わることで心豊かな生活や社会を創造していく態度を育てる。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学 期	1 単元名 漢字の書						
	【知識及び技能】 漢字の古典五書体全ての書体の線質、字形、構成等の特徴を捉え、効果的に作品として表現する技能を身に付ける。	【使用教材】 教科書、書道用具一式、応用ペン習字、タブレット	【知識及び技能】 五書体の違いを理解し、用筆、運筆を身に付けようとしている。				26
	【思考力、判断力、表現力等】 書道Ⅰを受け、Ⅱでは感興や意図に応じて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫する力を養う	【指導項目・内容】 基本筆法の永字八法。篆、隸、草、行、楷の五書体の各古典の臨書を徹底的に行う。今年度は教科書のデジタルコンテンツをタブレットを各自使用してより学びやすくする。また、篆刻を篆書学習に付随して1学期(今迄は2学期)に作成し作品制作に生かす。	【思考力、判断力、表現力等】 各種古典の臨書活動を通し、多様な表現が出来るように努力している。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 身近な手書き文化や名筆への関心を持ち生涯にわたり主体的に書と豊かに関わる能力を育成する		【学びに向かう力、人間性等】 自発的、主体的に知識、技能を身に付け、作品作りへ取り組もうとしている。					
2 学 期	1 単元名 仮名の書						
	【知識及び技能】 仮名の成立と種類、筆使い、平安時代の様々な古筆の臨書を通して、筆者や書風、用筆、運筆を理解し、身に付ける。	【使用教材】 教科書、書道用具一式、応用ペン習字、タブレット	【知識及び技能】 仮名の基礎知識や、古筆の特徴、運筆等を臨書を通して、身に付けようとしている。				24
	【思考力、判断力、表現力等】 古筆の臨書活動を通して、好きな詩歌を適切な用具、用材を選び、古筆を集字したり作業から作品制作への力を養う	【指導項目・内容】 古筆(高野切第一種、元永本古今集、他)の臨書活動を中心に、仮名美の表現と創作へと導くべく。料紙や紙面構成などについても広範囲に取り組み、生徒が興味関心を高く持てるよう工夫し、小筆の繊細な扱いと共に、実用面にもつなぐべく写経や実用書も多く取り組む。	【思考力、判断力、表現力等】 臨書活動を通して、身に付けた知識や技能を作品の構想や表現の工夫に生かそうとしている。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 日本独自の文化である仮名の美や表現を理解し、伝統、文化について理解を深め将来へとつなぐ心を養う		【学びに向かう力、人間性等】 用具の扱いを丁寧にし、繊細な仮名の美しさを感じできるようにしている。					
3 学 期	1 単元名 漢字仮名交じりの書						
	【知識及び技能】 現代の表記で生活にも即した漢字仮名交じりの書は身近で、書の表現を楽しむことができる分野なので、学んできた名筆の良さを生かせるようにする。	【使用教材】 教科書、書道用具一式、応用ペン習字、タブレット、プリント類	【知識及び技能】 学んできた名筆の良さを生かせるようにしている。				20
	【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成を構想し工夫することが出来る。	【指導項目・内容】 書家、著名人、ポスター等の表現の鑑賞。作品づくり(創作)の手順(文字、文章決め、構想し草稿練る、構成、用具選別等)	【思考力、判断力、表現力等】 漢字仮名の調和を構想し、工夫している。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 太古から続く、文字文化として自己表現する芸術であり、生活に根ざした"書道"を学び、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる		【学びに向かう力、人間性等】 現代の芸術文化としての書道を学び、表現する意識を養うとしている。					